

我々が日々お勤めする「般若心経」の中にも「諸行無常」の教えが説かれています。お大師さまが作られた「いろは歌」（色は匂へど 散りぬるを 我が世誰ぞ 常ならむ）の中にも含まれています。「この世の一切は無常であつて、すべては一瞬としてとどまらないで流れている、生があれば必ず滅がある」という教えです。

諸行無常をどういったときに感じるかといふと、虚しくなった時、諦めの境地になつた時、我々が日々お勤めする「般若心経」の中にも「諸行無常」の教えが説かれています。お大師さまが作られた「いろは歌」（色は匂へど 散りぬるを 我が世誰ぞ 常ならむ）の中にも含まれています。「この世の一切は無常であつて、すべては一瞬としてとどまらないで流れている、生があれば必ず滅がある」という教えです。

諸行無常



小豆島八十八ヶ所靈場巡拝
(R7.11.16~17 総勢12名)



靈峰石鎚山参拝「お山開き大祭」
(R7.7.6~7 総勢15名)



令和8年(2026)

第60号

發行

広島新四国八十八ヶ所靈場	正觀寺
第三十二番札所	
靈龜元年(奈良時代七一五年)開基	
～府中の觀音さん～	
真慈眼院	行弘覺
箱島山	真真真
小出田	小小吉

未だ有らず、一味美膳をなし、片音妙曲を調ぶ者は。
『性靈集』

人を喜ばせる料理はさまざまな食材や味覚の和が作り出し、名曲は音のハーモニーによって生まれます。みなさまも、人生の味わいを深める為には、異なる考え方や価値観もいものは取り入れ、自分の素材を増やして豊かにしていきましょう。

た時。我々はこの諦めを消極的にとり、慰めの教えに受け取りがちですが、実はそうではありません。

世の動き、ありとあらゆる変化の全部を観察した結果が諸行無常。世の中に固定的・不变的なものはないということになります。今が真冬であつてもやがて寒気が和らぎ、温かな日々が訪れるように。

一陽來福は、これから良くなっていく物事が良い方向へ向かう事を意味し、更に深く掘り下げるると心の痛みも、そのうち少しずつ少しずつ気持ちが癒やされて和らいでいきます。どんなに辛く苦しいこともずつとそのままではない、やがて苦しみ悲しみから立ち直っていく。それは忘れるのとは違ひ、多分時間の経過に伴いガチガチに固まっていた心がほどけて柔らかくなつていく、日にち薬となつています。

高野山での修業時代には、高野山金剛峯寺にて十四日の夕方から翌日の十五日にかけ、徹夜で奉修した記憶がございます。涅槃図を中心設け、四座講式を中心と声明II節のついたお経をお唱えします。お釈迦さまを慕い、涅槃を哀しむ心を語る涅槃講、羅漢（修行を完成された人達）によりお釈迦さまが残された尊い教えを伝え恩徳を語る羅漢講、お釈迦さまにまつわる聖地（遺跡）をはるかに慕う思いを語る遺跡講、そして仏舍利尊崇の心を語りかける舍利講の四つのシートに分けて営まれます。

東区牛田にある「不動院」今まで毎年二月十五日に結集寺院が集まつて涅槃会・常樂会法要を行つておりますので、どなたさまもおまいりください。

涅槃会 「常樂会」

「涅槃会」とはお釈迦さま（仏教の開祖）の遺徳を慕つて営まれる法要であり、「常樂

金

剛

昭和56年4月に開園しました、社会福祉法人 中央聖愛育会こんごう保育園（府中町浜田）、令和2年に開園しましたこんごうさくら保育園（府中町茂陰）。

元々、こんごう保育園は金剛保育園漢字で表記していました。名前の由来は、真言宗の開祖である弘法大師の御宝号「南無大師遍照金剛」より用いました。「南無」は「帰依する」心から信じ、頼り、拝り所とすること」という意味で、弘法大師に帰依する意味になります。「大師」は醍醐天皇から贈られた「弘法大師」号の略です。「遍照金剛」は弘法大師・空海が滙頂（真言密教において阿闍梨（密教を学んだ僧侶）から法門を伝授される時に用いられる儀式）を伝授されたことを示す滙頂号であり、密号とも言います。「心から私は弘法大師におすがりいたしました」ということになるのです。

金剛の意味は、（堅固なるもの）を中心に、金剛石＝ダイヤモンドを表します。盤石・最上・最勝のものであり、ダイヤモンドのように堅固で、いかなる煩惱や迷いにも壊れない。ダイヤモンドのように、磨けば磨くほど光り輝くということより、子供達も手塙にかけて育て、磨けば磨くほど成長して光り輝いていくといった願いもこめられて、「金剛」を用いました。

笑

顔

府中町役場へ行つた際の話です。ロビーは広く、掃除は行き届いています。職員の方が一生懸命仕事に励んでいます。

ふと気がつくと、知り合いの方のお顔が見えました。その方も何げなしに雰囲気を感じたのでしょうか。視線が合つた時、会釈をしました。ほのぼのとした暖かいものが、体に伝わりました。改めて挨拶する程の間柄でもない人に、ちょっと会釈するところが、その場に一輪の花を咲かせるものです。

笑顔は、人に安らぎを与えてくれます。

人生の花が、心の中で満開に咲き誇つている時、人間は笑顔になれるのです。私たちは時おり心のオーバーホールを行い、汚れたオイルを交換するように、心の大掃除をすることが大事であります。

灯籠流し

毎年、八月六日に各宗教各宗派が原爆供養塔の前で勤行を行っています。広島市仏教会が寺院相互の連携を図り、戦没者追悼を行っています。



毎年、四月第二日曜日に行ってます。是非お参りください。

宗教を越えて沢山の方々が手を合わせ、犠牲者への慰靈と平和へのメッセージを込めて、灯籠を川へと流します。日本各地で行われている灯籠流し。地域によって多々ありますが、皆さまにもご先祖さまの供養や平和への願いを込めて、幻想的な光景を肌で感じてほしいと思います。

觀音大祭
(R7.4.13)

お墓参り

我々はおおむね年に二～三回はお墓参りに行くとされています。お盆やお彼岸・祥月命日・年末年始等などです。

お墓参りをすると、皆さまはどうなお気持ちになりますか？多くの方から「すがすがしい」「いいことをした気分になる」「すっきりする」などという言葉をお聞きします。心が洗われて、きれいになりましたと言われています。実はお墓参りにはそういった「心がきれいになる効果」もあると思います。お参りに来られる方はさまざまな理由があるとは思いますが、この効果はどなたにでもあるのではないかと思います。ご先祖さまや故人に感謝をする心から生まれるからと考えます。墓参りに限らず、感謝の念をもつことは精神的にも非常に良い影響がございます。又、ご先祖さまや故人が、いい気分にしてくれた安心を与えてくださっていることでしょう。

故人を思い、心を通わせる経験は、他者への理解や共感力を育み、人格形成に必要不可欠とされています。自分で命をつないでくれたご先祖さまに感謝の気持ちを伝え、ご冥福を祈り、家族の近況を報告する場もあります。自分は決して一人ではないこと、奇跡の連続で自分が存在することを感じ、生きていく上で強さをもらうことができます。

動物供養塔

この度、新たに動物供養塔を建立いたしました。永年、家族同様に暮らしてこられたペットのご供養を賜ります。

納骨法要をとり行い、ご供養いたします。



動物供養塔

「境内地墓地」「本堂 納骨堂」「永代供養塔」について



—新元号「令和」記念—

「やすらぎ観音さま」の

ご奉納について

「やすらぎ観音さま」のご守護を頂戴し、日々の安心の糧にしてみてはいかがでしょうか。

本堂内にご奉納されても、仏さまをお持ち帰られて、各ご家庭でお祀り頂いても結構です。

台座の記載はいかようにも対応致します。

現在、約八十体弱のご奉納を頂いています。まだまだ数に余裕がございます。



◎境内地墓地 本堂納骨堂 永代供養塔
新たに、本堂裏（右側対面）に、納骨堂の増設をしました。



↑NEW（令和7年10月21日
納骨堂増設）



令和八年度
年間行事予定表

『隨時受付中（宗派不問）』

講義はお手本でお題ご用わせください。

水子納骨堂・水子地蔵尊・やすらぎ観音
正觀寺会館（葬儀会場）／（仏前結婚式会場）
先祖供養・水子供養・永代供養・護摩祈禱
厄除け・お焚き上げ・諸祈願・動物供養塔
四国八十八ヶ所靈場お砂踏み階段・仏事全般 等々

一、七月五日(日)～六日(月) 一泊二日
『石鎚山参拝』 費用四〇、〇〇〇円予定
二、十一月十五日(日)～十六日(月) 一泊二日
『篠栗靈場巡拝』 費用四〇、〇〇〇円予定

- 《月例行事予定表》【變則的、要確認】

- 御本尊「聖觀世音菩薩」、「縁日」
「諸供養・諸祈願(護摩祈祷)・昼食(弁当)お接待有」
○毎月十八日午前十時半
十八日が日曜・祭日の場合
お大師さん「弘法大師」「縁日

二、高野山金剛流御詠歌教室 月二日
平日昼間 午後十三時十五時

高野山金剛流御詠歌教室 月二回程度(不定期)
平日昼間 午後十三時~十五時

- 広島高速「号線
府中出入口(温品JCT方面出入口のみ)下車一分
大州出入口(仁保JCT方面出入口のみ)下車一分
JR天神川駅下車徒歩七分
バス停「新大州橋」「府中大橋」下車徒歩三分
（駐車場有り）
- 新大州橋・イオンモール広島府中
(旧ソレイユ)近く
- 広島正観寺